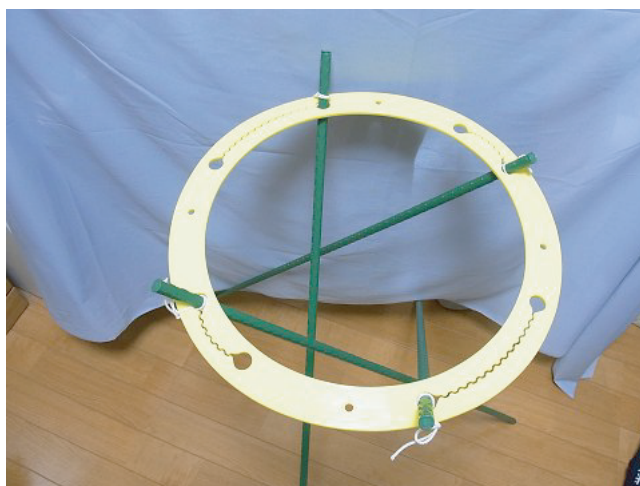


ワッポイを自立させる方法



4本の支柱を立ててワッポイを軽くねじるとこのようになる。棒の長さは袋の底が付く程度のここでは約60cmとしている。



支柱を付けたまま袋の脱着ができる。上から見ると支柱が交差している。対角になる導き穴に付けるとよい。←左の写真の下部に付けた糸は、フロアなどの滑りやすい場合のためにあるもの。通常は必要がない。



（↑左の写真）一度入れた袋の縁を内側にもう一度入れ込むと抜けにくくなる。（右の写真）こちらはもう一度導き穴に通して先の袋の縁の下に引き込む方法。これはまず抜けない。結びようの凸のある袋にはかなり有効。

支柱の太さは約10mm径が最適。導き穴に通したときに隙間があることがもっとも肝心なことになる。つまり、この隙間が支柱を斜めにする役目となる。



袋の設置はいつも上から下に引き出す要領で。導き穴に入れて横に広げる。



4箇所の引き出しをクリップで止めるのが最も簡単な方法です。支柱を付けるときは、あらかじめ支柱を結ぶ紐にクリップを付けておくのがいいでしょう。

4本の支柱は、始めはねじれているが袋の容量が増す毎に立つようになる。棒が長すぎると袋が浮いて倒れるので、袋の底が地面に着く程度に調節していく。